

株式会社小俣組 様

この度は『環境絵日記』へのご協賛ならびに今回の取組にご協力いただき誠にありがとうございました。
今回、御社にて行われました表彰式につきまして報告書を作成しましたので、当情報を御社のCSR活動報告へご活用いただけると幸いです。

『環境絵日記 2017』地域企業賞表彰式 報告書

横浜市資源リサイクル事業協同組合

日 時：平成 29 年 10 月 27 日（金）17：00～

表彰会場：株式会社小俣組 本社にて

表 彰 者：株式会社小俣組 代表取締役 小俣 務様（同行：瀬戸様）

組合随行者：横浜市資源リサイクル事業協同組合 島川

<受賞者> 5年 川越 麻由様

<受賞作品> 「雲リサイクル装置」（※次ページ参照）

■表彰式の様子■

10月27日（金）、今年度『環境絵日記』の地域企業賞へご協賛いただきました、株式会社小俣組様による表彰式が、小俣組本社にて行われました。

環境絵日記及び地域企業賞の紹介の後、小俣様には、今回の受賞作品についてご本人の前でコメントいただきました。麻由さんは少し緊張した様子でしたが、賞状を受取ると緊張が解けたのか、とても嬉しそうなお顔を見ることができました。



■企業様からのご感想■

今回地域企業賞として、表彰した川越麻由さんの作品「雲リサイクル装置」は、雨雲を自由に操れる装置があればという発想で描いてくれた素晴らしい作品でした。建設業という仕事柄、雨や最近頻繁に発生する台風などを何とかしてくれ、工期が遅れないようにしてくれそうな画期的なものでした。将来、実現化出来そうなそんな予感がする作品でした。





二十九年 八月十八日 金曜日 天気 晴れ

題名

雲リサイクル装置

私は大雨を降らせる雨雲や嵐や台風などの災害を起す雲を捕かくして、その雲を必要な時に必要な場所へ放し、雨を降らせる簡単な雨雲をコントロール出来る「雲リサイクル装置」があればいいなと思いました。

雨雲を捕かくすれば大雨が降ること、起る川のほんの少し作物への日照不足をなくすることが出来ます。逆に必要な雨が降りなくて畑や野菜が枯れました。川の水が足りなくなると水不足で田んぼも自由自在に雨雲を再生し、必要な場所へ雨を簡単に降らせることが出来ます。

今年は大雨による災害がたくさんあったので「雲リサイクル装置」があれば災害が少なくなりみんなの生活が幸せな生活出来ればいいなと思います。

がっこう 学校	大岡	しょうがっこう 小学校	5 ねん	なまえ 名前	かわごえ 川越	まゆ 麻由
------------	----	----------------	---------	-----------	------------	----------

(漢字で名前を書いた場合は、ふりがなをふってください)



RECYCLE Design 横浜市資源リサイクル事業協同組合